

科目名	神経障害理学療法学実習	担当教員	久保田健太※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	----------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年	後期	1単位	実習

科目概要	「神経障害理学療法学」および「神経障害理学療法学演習」で学習したことを基に、脳血管障害および脊髄損傷に対する介助方法や運動療法を実技形式で学習する。特に歩行、立位、立ち上がり、座位、寝返り・起き上がりなどの基本動作における運動療法を肢位別だけではなく、肢位間のつながりも意識すること、運動学や生理学、運動学習理論を踏まえたmotor learning programを実践できるように理解を深める。また従来の疾患特異的な運動療法のみならず、最新のエビデンストレーニングも実践し学習する。
学習目標	1. 脳卒中および脊髄損傷の基本動作における介助法を理解する。 2. 脳卒中および脊髄損傷の評価ポイント、運動療法を理解する

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	脳血管障害	筋緊張1	肢位変化に対する筋緊張の変化を観察し、緊張の変化が動作に与える影響を実技形式で学習する。	久保田
2	脳血管障害	片麻痺者の寝返り・起き上がり	寝返りや起き上がり時の評価のポイント、運動療法を実技を通して学習する。また介助法も習得する。	久保田
3	脳血管障害	片麻痺者の座位・立ち上がり1	座位や立ち上がり時の評価のポイント、運動療法を実技を通して学習する。また介助法も習得する。	久保田
4	脳血管障害	片麻痺患者の立位・歩行1	立位や歩行時の評価のポイント、運動療法を実技を通して学習する。また介助法も習得する。	久保田
5	脳血管障害	片麻痺患者の上肢に対する運動療法1	麻痺側上肢の評価のポイント、運動療法などを実技を通して学習する。	久保田
6	脳血管障害	片麻痺患者の下肢に対する運動療法1	麻痺側下肢の評価のポイント、運動療法などを実技を通して学習する。	久保田
7	脊髄障害	脊髄損傷総論①	脊髄障害の原因・外傷性脊髄損傷の疫学について理解し、説明することができる。	久保田
8	脊髄障害	脊髄損傷総論②	脊髄損傷の回復過程・診断・治療について理解し、説明することができる。	久保田
9	脊髄障害	脊髄損傷総論③	ASIA スコアリングシステムについて理解し、説明することができる。	久保田
10	脊髄障害	脊髄損傷の症候と合併症①	脊髄損傷の呼吸障害及び、排泄障害とその対応について理解し、説明することができる。	久保田
11	脊髄障害	脊髄損傷の症候と合併症②	脊髄損傷の自律神経障害、その他の症候及び合併症などの対応について理解し、説明することができる。	久保田
12	脊髄障害	四肢麻痺・対麻痺	四肢麻痺・対麻痺について臨床症例を通して学ぶことができる。	久保田
13	脊髄障害	脊髄障害に対する運動療法①	脊髄損傷の特徴や評価、運動療法について学習する。	久保田
14	脊髄障害	脊髄障害に対する運動療法②	脊髄損傷の特徴や評価、運動療法について学習する。	久保田
15	脊髄障害	生活環境支援	臨床実例を通して学ぶことができる。	久保田

評価方法	レポート (50%)・テスト (50%)
教科図書	岩崎洋編：脊髄損傷理学療法マニュアル. 文光堂
参考図書	田中宏太佳編集：動画で学ぶ 脊髄損傷のリハビリテーション、医学書院、2010 伊藤利之、江藤文夫編集：新版日常生活活動(ADL)－評価と支援の実際－、医歯薬出版、2011
学習の準備	授業資料などを用いしっかり復習する。
オフィスアワー	在室時はいつでも可能。
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	久保田健太は、民間病院で脳血管障害および脊髄損傷に対する介助方法や運動療法の実務経験を有しており、その経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。